

解答

一 1 エ 2 イ 3 イ 4 エ 5 ア

a ア b ウ
おととしは

ウ エ そしたら、

問一 ウイア
問二 ウイア
問三 ウイア
問四 ウイア
問五 ウイア
問六 ウイア
問七 ウイア
問八 ウイア
問九 ウイア

三

問一 ウイエ
問二 ウイオ
問三 ウイオ
問四 ウイオ
問五 ウイオ
問六 ウイオ
問七 ウイオ
問八 ウイオ
問九 ウイオ

三

解説

二 三

問六
問八

「彼」はボスの墓に供えた食パンがなくなったり、ボスの写真に涎のように見えた筋があつたりなくなったりという不思議な現象を「俺たちにはボスの涎でいいじゃないか」と受けいれようとしています。

続く部分で芭蕉は、「現実の蟬の声」や「蛙が飛び込んだ水の音」がきっかけで、「心の世界を開いた」とあります。そういう発想が似通っていると述べられています。